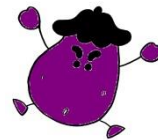


かみきたざわとしょかん



サラダ しんぶん

6・7がつ ごう



にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
日	月	火	水	木	金	土
			①	②	3	4
5	6	7	⑧	9	10	11
12	13	14	⑮	⑯	17	18
19	20	21	⑳	㉓	㉔	25
26	27	28	㉙	㉚	31	

※6月のおはなし会は、中止になりました。

※予定が変更される場合もあります。

かみきたざわとしょかん かいかんじかん

ごぜん9じ~ごご7じまで



のひにいる日: ごご5じまで (しゅくじつ)

かみきたざわとしょかん おやすみのひ

のひはおやすみです

(つうじょう月ようび)



※原則月よう日(げんてくげつようび)がしゅくじつ(しゅくじつ)のときは、火(か)よう日(ひ)がお休み(やすみ)です

※7月9日(木)は館内整理日(かみないせいりひ)のためお休み(やすみ)です。



おはなし会

○のひ ごご3じ~3じ30ぷん
(3さい~小学生(しょうがくせい)ぐらい)

◎のひ 午前(ごぜん)11時(じ)~11時20分(ぶん)
あか 赤ちゃん(あかちゃん)むけ (0さい~3さいぐらい)

★7月(かづ)は七夕(たなばた)があります。たんざく(たんざく)をつけるコーナー(コーナー)をつくれますので、おねがい(おねがい)ごとを(ごと)かいて(かいて)ください(ください)ね★



《6月》 雨・雲・季節のかわりめ

☔6月は、春から夏へとかわる季節です。冬に着ていた服から、夏用の薄い生地うす きじの服にとりかえます。今のようにエアコンなどがなかったときは、家の中も風通しをよくして暑い夏を少しでも気持ちよくすごせるように工夫をしていました。

😊じめじめした天気てんきがつづくきんと、ばい菌かっとうが活動しやすくなります。新型コロナウィルス対策のように、手をよく洗う・うがいをする・汚れた手でものを食べないなど、病気びょうきにならないようにしましょう。

☀晴れてほしい時ときにつくる『てるてるぼうず』。中国の“掃晴娘”がもとになっています。掃晴娘は、ほうきを持った女の子の人形で、晴れや幸せしあわをまねくといわれていました。男の子おとこ（ぼうず）になったのは、この風習ふうしゅうが日本にほんにきてからだといわれています。



(参考にした本：季節を知る・遊ぶ・感じる6月のえほん 監修：長谷川 康夫)

書誌番号：004956037 出版社：PHP研究所

《7月》 たなばた いろいろ

★7月7日は、たなばたです。むかしたなばたの日には、そうめんなどのめん類るいを食べることがありました。この日にそうめんを食べると病気びょうきをしないという言い伝えいひつたがあるそうです。また、細長いめんを“糸”に見立て、さいほうほそなが（布などを針と糸でぬうことなど）が上手になるといわれていました。短冊たんざくを書くことで字も上手になるといいう願ねがいもあります。いろいろなお願いがかなうといいですね！



☆たなばたのころに、収穫しゅうかくのお祭りまつをおこなうことがありました。キュウリ・カボチャ・トマト・スイカなど、夏なつに採れる野菜やさいやくだものを、おそなえする風習ふうしゅうがあるそうです。



★織姫おりひめと彦星ひこぼしのあいだにながれている天の川あまがわ。

やく2000億個の星ほしでできています。ミルキーウェイともよばれています。

(参考にした本：季節を知る・遊ぶ・感じる7月のえほん 監修：長谷川 康夫)

書誌番号：004964985 出版社：PHP研究所